

2018年度フットサル競技テスト

氏名

所属

1. 下記の各設問に当てはまるものを、答えてください。

No.	問 題	回答1	回答2	回答3	回答4	解 説
1	タッチラインの長さは？	25m～40m	20m～42m	16m～42m	25m～42m	長さ（タッチライン）最小25m 最大42m
2	第2ペナルティーマークは、ゴールラインから何mの位置に設置するか？	6m	9.15m	10m	12m	両ゴールポストの中央から10mで、両ゴールポストから等距離のところに第2ペナルティーマークを描く。
3	センターマーク、ペナルティーマークおよび第2ペナルティーマークは、直径何cmの円を描くのか？	15cm	17cm	18cm	20cm	センターマーク、ペナルティーマークおよび第2ペナルティーマークは直径20cmの円で描く（（公財）日本サッカー協会の決定）。
4	センターサークルの直径は、何mか？	3m	5m	6m	4m	ハーフウェーラインの中央にセンターマークをしるす。これを中心に半径3mのサークルを描く。
5	ボールの空気圧は、海面の高さの気圧で、0.6から（ ）気圧である。	0.7	0.9	1.0	1.1	空気圧は、海面の高さの気圧で0.6～0.9気圧（600～900g/cm ² ）とする。
6	ボールのバウンドは、2mの高さから落として50cm以上（ ）cm以下とする。	65cm	60cm	55cm	70cm	ボールは、2mの高さから落下させたとき、最初のバウンドが50cm以上、65cm以下の範囲ではね返るものとする。
7	ボールの重さは、常に400g～440gでなければならない。	○	×			ボールの重さは、試合開始時に440g以下、400g以上とする。
8	試合を開始するためには1チームそれぞれ何人の競技者がいる必要があるか？	4人	3人	2人	5人	どちらかのチームの競技者が3人未満の場合、試合は開始されない。
9	退場や負傷などによってチームの競技者数が減った。試合を放棄しなければならない人数は、何人未満か？	2人	3人	4人	1人	片方のチームのピッチ上の競技者が3人未満になった場合、試合は放棄される。
10	退場によっていずれかのチームの競技者がゴールキーパーを含め何人未満になった場合、試合を放棄されるのか？	3人	2人	4人	競技会規定で決定する。	退場や負傷によっていずれかのチームのピッチ上の競技者が3人未満になった場合、試合は放棄される。

11	フットサルパンツの下にはくアンダーショーツの色はどのようなものでなければならぬか？	フットサルパンツと同色または同系色でなければならぬ	フットサルパンツの主たる色と同じ色でなければならぬ	特に決まりはない	白色でなければならぬ	アンダーショーツを着用する場合、その色はフットサルパンツ（ショーツ）の主たる色と同じものでなければならぬ。たとえばオレンジ色と濃い黄色、黄緑と緑などは認められない。
12	タイムキーパーがいない場合、誰が試合時間を計測するのか？	運営本部が行う	主審が時間を計測する	第2審判が時間を計測する	誰でも良い	主審は、副審がいない場合、タイムキーパーおよび第3審判の任務を担う。
13	間接フリーキックの時に片手を高く上げるが、この手は、いつまで上げていなければならないか？	フリーキックが行われるまで	ボールが動くまで	ボールが他の競技者に触れるか、ピッチの外に出るまで	ファウルの笛を吹いたときに上げ、すぐに下ろす	主審・第2審判は、一方の腕を頭上に上げて、間接フリーキックであることを示す。主審・第2審判は、キックが行われ、そのボールが他の競技者に触れるか、またはアウトオブプレーになるまで、そのまま腕を上げ続ける。
14	退場後の2分間が終了した。誰が交代要員をピッチに入れることを承認するのか？	主審	第2審判	第3審判のみ	タイムキーパーまたは第3審判	交代要員は退場になった競技者に代わることができ、退場後2分間完全に経過したときに、タイムキーパー、または第3審判（副審）の承認を得てピッチに入れることができる。
15	チームからタイムアウトの要求がされたとき、承認するのはどの審判員か？	主審	第2審判	タイムキーパー	第3審判	タイムキーパーは、タイムアウトを、ボールがアウトオブプレーでタイムアウトを要求するチームがボールを保持しているときに主審・第2審判が用いるものと異なった音色の笛やその他の音で許可する。
16	チームからタイムアウトが要求された場合、どの場合に認められるか？	どちらのチームのキックインやフリーキックかに関係なく、次にボールがアウトオブプレーになったとき	タイムアウトを要求したチームのキックインやフリーキックなど、そのチームのボールでプレーを再開しようとするときに認められる			ボールがアウトオブプレーでタイムアウトを要求するチームがボールを保持しているときに主審・第2審判が用いるものと異なった音色の笛やその他の音で許可する。
17	キックオフを直接相手ゴールにけり入れたので、得点を認めた。	○	×			キックオフから直接相手ゴールに得点をすることができない。（2010/2011競技規則の改正）
18	キックオフも含め、プレーの開始、再開のとき、相手チームのすべての競技者は、ボールから5m以上離れなければならない。	○	×			センターサークルの大きさは、半径3m。キックオフをするチームの相手競技者は、ボールがインプレーになるまで3m以上ボールから離れる。
19	ボールが天井に当たったときの再開方法は、ボールが当たった地点の天井下の場所でのドロップボールである。	○	×			インプレー中にボールが天井に当たった場合、最後にボールに触れたチームの相手チームに与えられるキックインにより試合を再開する。キックインは、ボールが当たった天井下の場所に最も近いタッチライン上から行う。
20	屋内のピッチで試合が行われるときに、ボールが天井に当たった場合の再開方法は次のうちどれか？	当たった天井下の場所でドロップボール	最後にボールに触れたチームの相手チームに、ボールの当たった天井下の場所で間接フリーキックを与えて再開	最後にボールに触れたチームの相手チームに、ボールの当たった天井下の場所で直接フリーキックを与えて再開	最後にボールに触れたチームの相手チームに、ボールの当たった天井下の場所に最も近いタッチライン上からキックインを与えて再開	インプレー中にボールが天井に当たった場合、最後にボールに触れたチームの相手チームに与えられるキックインにより試合を再開する。キックインは、ボールが当たった天井下の場所に最も近いタッチライン上から行う。
21	天井の高さは、最低何m以上でなければならないのか？	4m	5m	6m	8m	天井の高さは4m以上なければならず、競技会規定に明記される。

22	退場者が出て5人対4人でプレーしているときに、4人のチームが得点を入れたが、競技者を補充させなかった。	○	×				2分間経過する前に得点があっても、人数の少ないチームが得点した場合には、そのままの人数で試合を続ける。競技者の人数が少ない方のチームが得点された場合のみ、交代要員から競技者を補充することができる。
23	自分のハーフのタッチラインから、味方競技者がキックインしたボールをゴールキーパーが足でコントロールしたが、反則としなかった。	○	×				ゴールキーパーは、自分自身のペナルティーエリア内であっても、味方競技者がキックインしたボールを直接手または腕で受けることは間接フリーキックで罰せられる反則であるが、足でプレーすることはペナルティーエリア内外にかかわらず、問題ない。
24	ペナルティーエリアの中で守備側チームに与えられた直接フリーキックは、エリアのどこから行ってもよい。	○	×				ペナルティーエリア内で守備側チームに与えられたフリーキックは、そのエリア内の任意の地点から行うことができるため、直接、間接にかかわらず、フリーキックはエリア内のどこから行っても構わない。
25	フリーキックのとき、ボールから前方5mの所に壁を作ることがあるが、ボールの後方では、どのくらい離れなければならないか？	3 m	5 m	ける競技者の邪魔にならない程度	特に規定はない		すべての相手競技者は、ボールがインプレーになるまで、ボールから5m以上離れなければならないと規定されているが、ボールの前方、ゴール方向だけとはなっていない。相手競技者は、どの方向であっても、ボールから5m以上離れなければならない。
26	直接フリーキックが行われ、自分のゴールに直接入った場合の対応として正しいものは次のうちどれか？	得点を認める	ゴールクリアランスで再開する	コーナーキックが相手チームに与えられる	キックした場所から間接フリーキックで再開する		直接フリーキックが行われ、ボールが相手ゴールに直接入った場合、得点となる。直接フリーキックが行われ、自分のゴールに直接入れた場合、コーナーキックが相手チームに与えられる。
27	第2ペナルティーマークからける、壁なしの直接フリーキックのボールがゴールに当たり、キッカーのところへ直接戻った。キッカーがそのままシュートしたところ、ゴールインしたが、得点を認めなかった。	○	×				ボールがインプレーになって、他の競技者が触れる前に、キッカーがボールに再び触れた場合（手、または腕による場合を除く）、違反の起きた場所から行う間接フリーキックが相手チームに与えられる。ゴールポストまたはクロスバーから跳ね返ってきたボールは、他の競技者がボールに触れていない。
28	キックインを味方ゴールキーパーにパスしたところ、ゴールキーパーが触れることができず、ゴールに入ったので得点を認めた。	○	×				キックインからは相手のゴールであっても、味方のゴールであっても、直接得点することはできない。相手チームにコーナーキックが与えられる。
29	すべての相手競技者は、キックインが行われる場所から少なくとも何m離れなければいけないか？	3 m	5 m	4 m	2 m		相手競技者は、 ・ピッチ内で、 ・キックインを行うタッチライン上の場所から5m以上離れなければならない。
30	キックインから相手ゴールに直接ボールが入った。再開の方法として正しいものは次のうちどれか？	キックインのやり直し	同じ場所から相手チームのキックイン	相手チームのゴールクリアランス	得点を認め、相手チームのキックオフ		キックインから直接得点することはできない。ボールは、ゴールラインを越えたので、相手チームのゴールクリアランスで試合を再開する。
31	ゴールクリアランスを足でつけたので、相手チームに間接フリーキックを与えた。	○	×				ボールは、ペナルティーエリア内の任意の地点から守備側チームのゴールキーパーによって投げられる。ゴールキーパーが足でゴールクリアランスを行った場合、主審・第2審判はそのゴールキーパーに注意をし、手、または腕で行うよう命じる。しかしゴールキーパーに再び行う準備ができたなら、4秒のカウントは一度止められたところから再開される。
32	ゴールクリアランスのとき、ボールがインプレーとなるのは、どの時点か？	投げた瞬間	ボールが前方に移動した時点	ゴールキーパーがペナルティーエリアに入ったときから	投げられたボールがペナルティーエリアを出た時点		ボールは、ペナルティーエリアの外へ直接投げだされたときインプレーとなる。

33	ゴールクリアランスのボールが直接相手ゴールに入った。主審または第2審判としてどのように対処するのか？	得点を認め、相手チームのキックオフで再開	得点を認めず、相手チームのゴールクリアランスで再開	ゴールクリアランスのやり直し	ドロップボールで再開	ゴールクリアランスから直接得点することはできない。
34	コーナーキックからは、相手ゴールであれば、直接得点できる。	○	×			コーナーキックから自分のゴールには直接得点できないが、相手チームのゴールには直接得点できる。
35	コーナーキックのときは相手競技者は、どのくらい離れる必要があるか？	ボールから5m	タッチラインとゴールラインの交点から5m	コーナーアークから5m	特に規定はない	ボールがインプレーになるまで、相手競技者は、コーナーアークから5m以上はなれなくてはならない。